

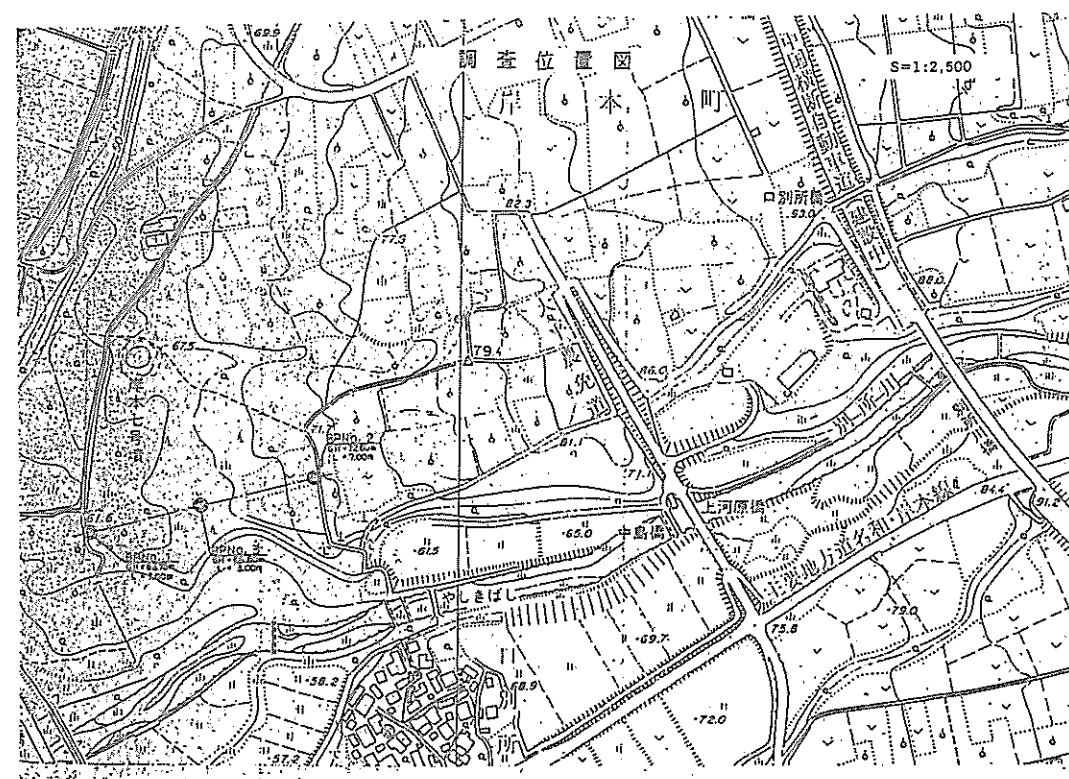
質問書に対する回答

件 名 旧灰溶融施設（エコスラグセンター）解体撤去工事

次のとおり回答します。

質問 番号	質問内容	回 答	設計図書等の該当頁 (該当箇所)
10	解体敷地範囲内の土質性状図及び地下水位情報の資料があれば、提供は可能でしょうか。	土質性状図については、別添をご参照ください。 地下水位情報の資料はありません。	
11	土壌汚染調査は事前に実施されていると思いますが、その結果について開示可能でしょうか。	事前に実施した土壌汚染調査の結果については、別添をご参照ください。	
12	解体作業開始前※1空气中ダイオキシン類は分離測定と規定されています。除染作業中※2及び除染後解体前※3は含量測定で良いと考えてよろしいでしょうか。	含量測定で良いと考えていただいて差支えありません。	設計図書p.22 第5章 解体撤去工事 12.調査・測定・分析等 表4 作業環境測定 ※1、※2、※3
13	ピーク時(除染中・解体中)と2工種記載となっていますが、分析検体数は1検体となっています。どちらの工種時に検体すれば良いかご教示お願いします。	解体(部材の取り外し等)と並行して除染作業を行う場合を想定し、2工種を記載しているものです。除染中に採取したものをピーク時の検体としてください。	設計図書p.23 第5章 解体撤去工事 12.調査・測定・分析等 表7 大気環境測定
14	洗浄水はダイオキシン類及び重金属、1,4-ジオキサンを分析することとなっていますが、分析検体数は1検体と記載されています。分析検体数は2検体ということでしょうか。ご教示お願いします。	1つの検体を用い、それぞれの物質の分析を行うことを想定しています。	設計図書p.23 第5章 解体撤去工事 12.調査・測定・分析等 表8 処分廃棄物
15	煙突内筒及び煙突構面台、煙突基礎部、杭伏せ図等の詳細図面の提示をお願いします。	煙突の詳細図面については、別添をご参照ください。 なお、その他のプラント設備等	

		の詳細図面については、本組合事務局総務課(米子市淀江町西原1129番地1)にて閲覧が可能です。	
16	管理棟・渡り廊下・工場棟基礎にラップルコンクリートが施工されており、細目別内訳数量で 581 m³計上されています。現場内での圧砕分別作業が発生する上で大幅に数量(1.2 倍以上)が増加したときは設計変更対象になると考えてよろしいでしょうかご教示をお願いします。	細目別内訳数量に示した数量と実際の数量に差異が生じた場合、原則として、設計変更の対象にはなりません。 ただし、基礎部分のラップルコンクリートは、竣工時の支持地盤の状況や施工条件等によって、明らかに受注者責任外の埋設物等が存在する場合がありますので、その場合については、受発注者間で協議した上で、設計変更の対象とすることがあります。	
17	土壌汚染状況開示後の内容に汚染土壌が存在していた場合、地下構造物撤去方法に大幅な変更が生じた場合は協議後設計変更の対象となるとの理解で宜しいでしょうかご教示をお願いします。	お見込みのとおりです。	設計図書p.17 第5章 解体撤去工事 4.アスベスト含有建材 除去工事 表2 アスベスト分析調査結果



ボーリング柱状図

[illegible]

ボーリング柱状図

[illegible]

ボーリング柱状図

国 旗 名 建設年度 所在地 調査機関

シートNo.

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※ 採着の際には必ず支持体を破却すること

FIG NO	FIG NO	品名 NOMENCLATURE	材質 MATERIAL	数/1面 QTY/1SHEET	備考 REMARKS
三角図 TRIGON		納入先 USER	鳥取県西部広域行政管理組合 殿		
図尺 SCALE		名称 TITLE	鳥取県西部広域行政管理組合 広域灰溶融施設建設工事 土質柱状図		
承認 APPROVED					
検印 CHECKED		工事番号 JOB NO		図面番号 DWG NO	
検印 CHECKED		V-486		YA-2-009	
製図 DRAWN		 ユニチカ株式会社 UNITIKA LTD.			

旧灰溶融施設(エコスラグセンター)
地歴調査及び土壤汚染状況調査業務

報 告 書
【土壤汚染状況調査】

令和 6 年 9 月

株式会社 日本総合科学

環境省指定調査機関
(指定番号 2003-6-2009)

8 調査結果

8.1 調査地点および調査深度の変更

土壌汚染のおそれ比較的多い土地として、飛灰処理物搬出室を対象として調査地点 D3-8 を計画したが、構造物の梁があるため、同じ飛灰処理物搬出室内の D3-4 に調査地点を変更した(図 8.1-1 参照)。

また、スラグ貯留棟の沈砂槽を対象とした調査地点(A3-8)の深さを収集資料から 60cm とし、調査深度 1.10m を計画したが、現地での実測により 80cm であったため、調査深度を 1.30m に変更した(下写-1 参照)。

変更に伴う、調査地点の一覧表は表 8.1-1 に、調査地点図は図 8.1-2～図 8.1-3 に示すとおりである。

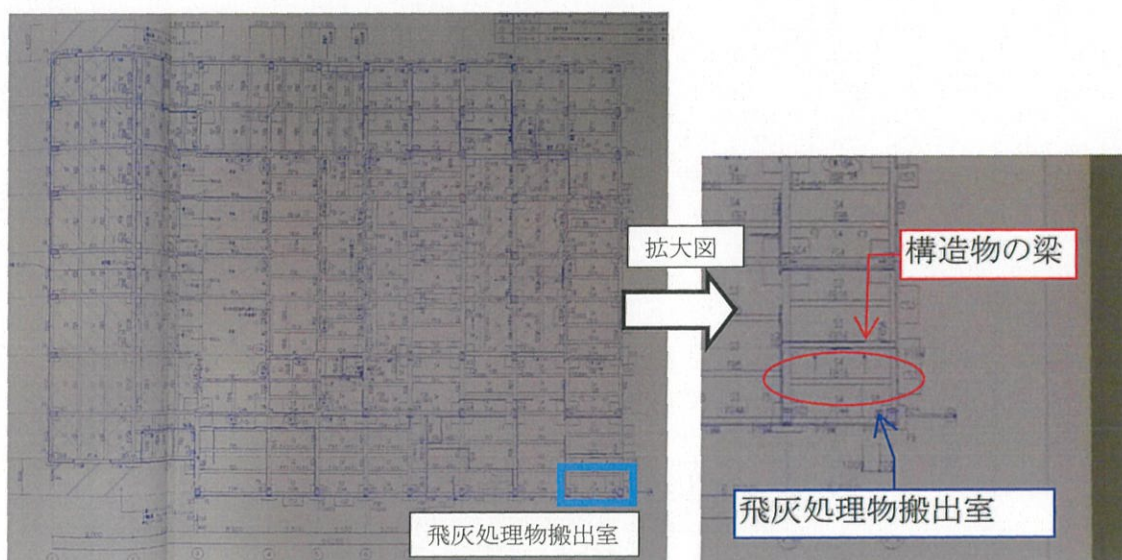


図 8.1-1 1 階梁伏図



写-1 スラグ貯留棟沈砂槽深さ

表 8.1-1-1 調査地点一覧表（変更後）

30m 格子	単位 区画	地点名称	被覆	表層土層 採取深度	ビット土層 採取深度 (dl-m)	重金屬（表層土層）			重金屬（ビット下土層）			ダイオキシン類（表層土層）			ダイオキシン類（ビット下土層）		
						区画の分類	試料採取数	試料採取位置	区画の分類	試料採取数	試料採取位置	区画の分類	試料採取数	試料採取位置	区画の分類	試料採取数	試料採取位置
A2	A2	A2-4	コンクリート	-	-	全部対象区画	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機
		A2-5	コンクリート	0.00~0.50	スラグ貯留機			おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	
		A2-6	コンクリート	-	スラグ貯留機			おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	
		A2-7	コンクリート	-	スラグ貯留機			おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	
A3	A3	A2-8	コンクリート	-	-	全部対象区画	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機
		A3-8	コンクリート	0.00~0.50	スラグ貯留機			おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	
		D3-5	コンクリート	0.00~0.50	スラグ貯留機			おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	
		D3-6	コンクリート	0.00~0.50	スラグ貯留機			おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	おそれがある	1	スラグ貯留機	
D3	D3	D3-7	コンクリート	0.00~0.50	-	全部対象区画	1	スラグヤード	おそれがある	1	スラグヤード	おそれがある	1	スラグヤード	おそれがある	1	スラグヤード
		D3-4	コンクリート	0.00~0.50	廃炭酸塩類抽出装置			おそれがある	1	廃炭酸塩類抽出装置	おそれがある	1	廃炭酸塩類抽出装置	おそれがある	1	廃炭酸塩類抽出装置	
		D3-9	コンクリート	0.60~1.10	スラグコンベンヤピット			おそれがある	1	スラグコンベンヤピット	おそれがある	1	スラグコンベンヤピット	おそれがある	1	スラグコンベンヤピット	
		F4-8	コンクリート	0.00~0.50	焼渣ピット近傍			おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	
F3	F3	F3-2	コンクリート	0.00~0.50	6.10~6.60	全部対象区画	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍
		F3-3	コンクリート	6.10~6.60	焼渣ピット近傍			おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	
		F3-5	コンクリート	6.10~6.60	焼渣ピット近傍			おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	
		F3-6	コンクリート	6.10~6.60	焼渣ピット近傍			おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	
F4	F4	F4-8	コンクリート	6.10~6.60	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍
		F4-1	コンクリート	6.10~6.60	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍	おそれがある	1	焼渣ピット近傍
		埋地			3地点※	22.1m※	8	8検体		5	5検体		20	4検体		3	1検体
		合計				3地点※	22.1m※	8	8検体		5	5検体		20	4検体		3

調査対象項目		重金屬（溶出・含有量）：カドミウム、水銀、セレン、鉛、砒素、ふっ素
①重金屬（溶出）		溶出量：13検体（カドミウム、水銀、セレン、鉛、砒素、ふっ素、ほう素）
②ダイオキシン類（含有）		含有量：13検体（カドミウム、水銀、セレン、鉛、砒素、ふっ素、ほう素）
O地点数（燃焼から5m以内のダイオキシン類調査地点を除く）		燃焼から5m以内のダイオキシン類調査地点を除く
コンクリート埋地除去		18箇所
全試料採取地点		18箇所
表土保護地点		3地点
ボーリング調査		22.1m

※：表中、合計は燃焼から5m以内のダイオキシン類調査地点を除く

備考

備考

※：表中、合計値は検体から5m以内のダイオキシン類調査地点を除く

※着色部が変更箇所

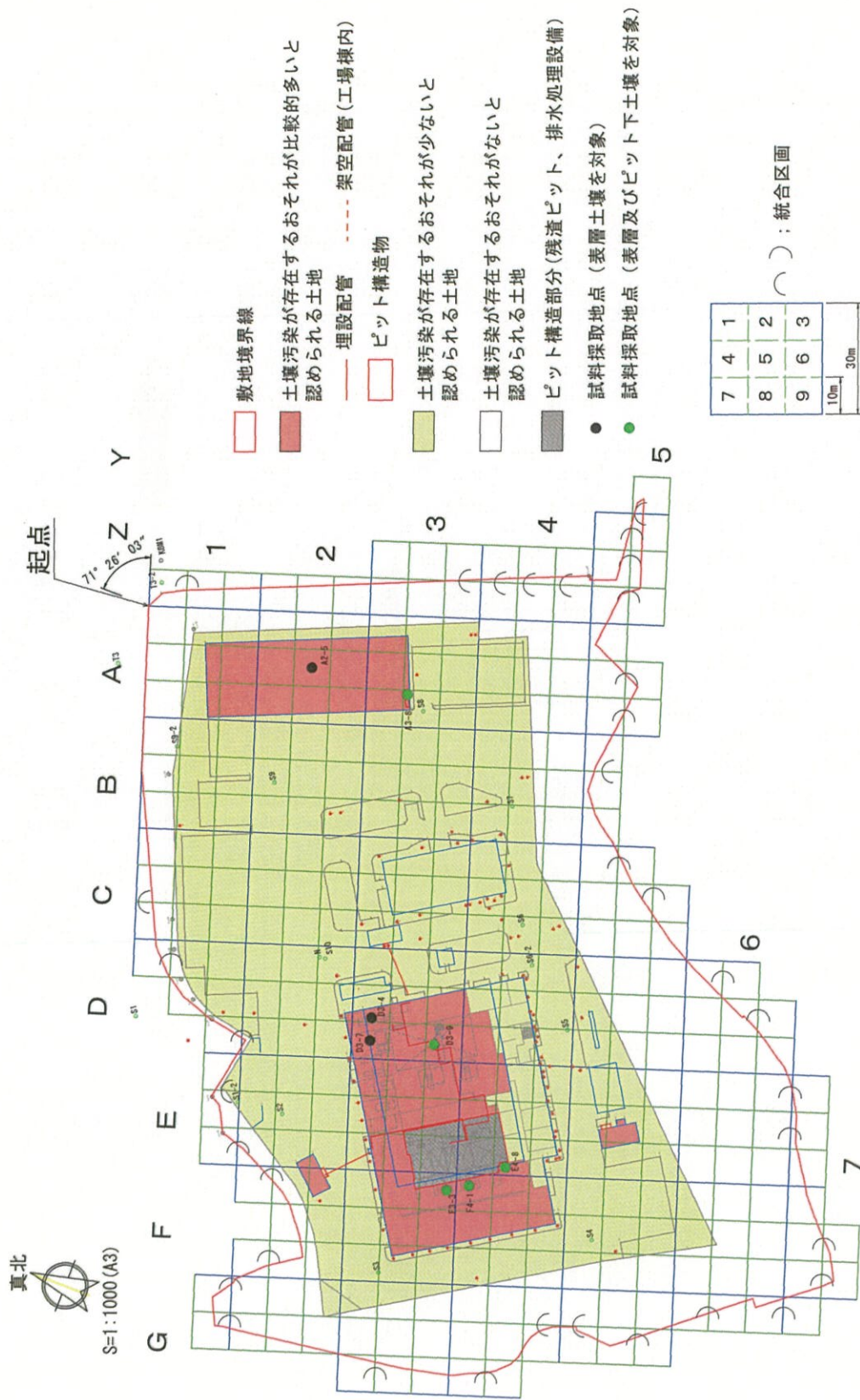


図 8.1-2 重金属を対象とした試料採取地点 (変更後)



図 8.1-2 ダイオキシシン類を対象とした試料採取地点 (表層土壌) (変更後)

8.2 土壌試料採取結果

土壌試料は 23 箇所では採取した。

煙突から 5m 以内のダイオキシン類調査地点 (5 地点) の表層は 10cm 程度の砂利であった。そのほか 18 箇所では、20～60cm のコンクリートと 4～17cm の砕石をそれぞれ確認した。

すべての調査地点で被覆物があるため、それを除去した土壌表面を基準として土壌試料を採取した。

採取した土壌は、すべての調査地点で礫混じり砂の未固結堆積物で確認される。色調は暗褐色、暗灰褐色、淡灰褐色を呈し、含水量は少ない。ボーリング調査では推定径 500mm 程度の転石が多く混入している。

全体的に、廃棄物等の混入物はなく、異常な臭気も確認されなかった。

8.3 土壌溶出量調査結果

土壌溶出量調査の結果は表 8.3-1 に示すとおりである。

土壌溶出量調査の結果、ふっ素及びその化合物が 0.09mg/L～0.29mg/L (8 試料)、ほう素及びその化合物が 0.02mg/L (1 試料) の濃度で検出されたが、すべての調査地点、調査深度で土壌溶出量基準を超過した項目はなかった。

8.4 土壌含有量調査結果

土壌含有量調査の結果は表 8.4-1 に示すとおりである。

土壌含有量調査の結果、すべての調査地点、調査深度で定量下限値未満を示し、土壌含有量基準を超過した項目はなかった。

8.5 ダイオキシン類調査結果

ダイオキシン類調査の結果は表 8.5-1 に示すとおりである。

ダイオキシン類調査の結果、毒性等量は 0.059pg-TEQ/g～6.3pg-TEQ/g を示し、環境基準を超過した採取場所はなかった。

表 8.3-1 土壌溶出量調査結果

30m 格子	単位 区画	地点 名称	深度 (GL-m)	カドミウム 及びその化合物	水銀及び その化合物	アルキル水銀	セレン 及びその化合物	鉛及び その化合物	砒素及び その化合物	ふっ素 及びその化合物	ほう素 及びその化合物
A2	A2-5	A2-5	0.30～0.80	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.22	ND
A3	A3-8	A3-8	0.40～0.90	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.27	ND
			0.80～1.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.29	0.02
D3	D3-4	D3-4	0.35～0.85	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND
	D3-7	D3-7	0.40～0.90	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND
	D3-9	D3-9	0.60～1.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	ND
			0.60～1.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND
E4	E4-8	E4-8	0.30～0.80	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			6.00～6.50	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
F3	F3-3	F3-3	0.40～0.90	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND
			6.15～6.65	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
F4	F4-1	F4-1	0.40～0.90	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			6.15～6.65	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
定量下限値 (mg/L)				0.0003	0.0005	0.0005	0.002	0.005	0.005	0.08	0.01
土壌溶出量基準 (mg/L)				0.003以下	0.0005以下	検出されないこと	0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.8以下	1以下

※「ND」とは定量下限値未満のことをいう。

表 8.4-1 土壌含有量調査結果

30m 格子	単位 区画	地点 名称	深度 (GL-m)	カドミウム 及びその化合物	水銀及び その化合物	セレン及び その化合物	鉛及び その化合物	砒素及び その化合物	ふっ素及び その化合物	ほう素及び その化合物
A2	A2-5	A2-5	0.30～0.80	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
A3	A3-8	A3-8	0.40～0.90	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			0.80～1.30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
D3	D3-4	D3-4	0.35～0.85	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	D3-7	D3-7	0.40～0.90	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	D3-9	D3-9	0.60～1.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			0.60～1.10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			0.30～0.80	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
E4	E4-8	E4-8	6.00～6.50	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			0.40～0.90	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
F3	F3-3	F3-3	6.15～6.65	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			0.40～0.90	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
F4	F4-1	F4-1	6.15～6.65	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
			定量下限値 (mg/kg)			4	1	10	10	10
土壌含有量基準 (mg/kg)				45以下	15以下	150以下	150以下	150以下	4000以下	4000以下

※「ND」とは定量下限値未満のことをいう。

表 8.5-1 ダイオキシン類調査結果

採取場所	毒性等量 (pg-TEQ/g)
A2区画	0.059
D3区画	0.33
F3区画	0.19
ピット下土壌 (E4-8、F3-3、F4-1)	0.26
煙突から5m以内の未舗装部	6.3
環境基準 (pg-TEQ/g)	1000以下

9 まとめ

鳥取県西部広域行政管理組合において所管する旧灰溶融施設（エコスラグセンター）では解体工事に伴う土壌汚染対策法の第4条第1項の規定に基づく、一定規模以上の土地の形質変更の届出が予定されている。

そのため、土壌汚染対策法施行規則第3条第1項に基づく土地履歴調査が令和6年4月から令和6年6月に実施されている。

土地履歴調査の結果、エコスラグセンターで取扱っていた焼却残渣、飛灰や廃耐火材の廃棄物、溶融スラグおよび排水に鉛や砒素などの重金属やダイオキシン類が含まれていることを確認した。また、溶融スラグの溶出量・含有量分析では稀に鉛の基準を超過することがあった。

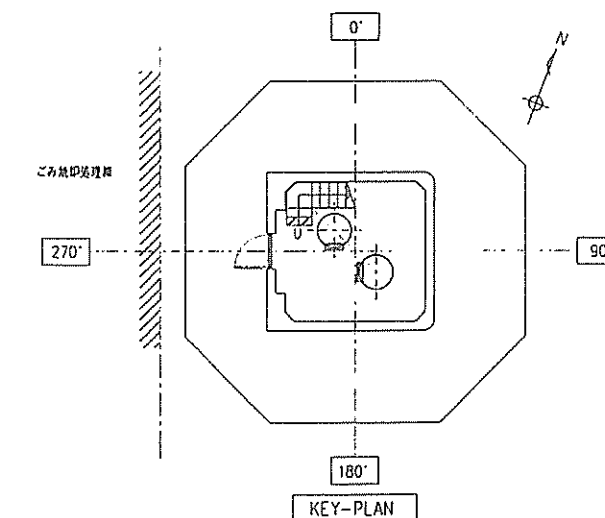
以上のことから、焼却残渣や飛灰・廃耐火材の廃棄物、溶融スラグおよび排水を取扱っていた施設について、重金属やダイオキシン類による土壌汚染のおそれが懸念された。

本調査は、土壌汚染調査を自主的に行い、調査対象地の土壌環境を把握することを目的とした。

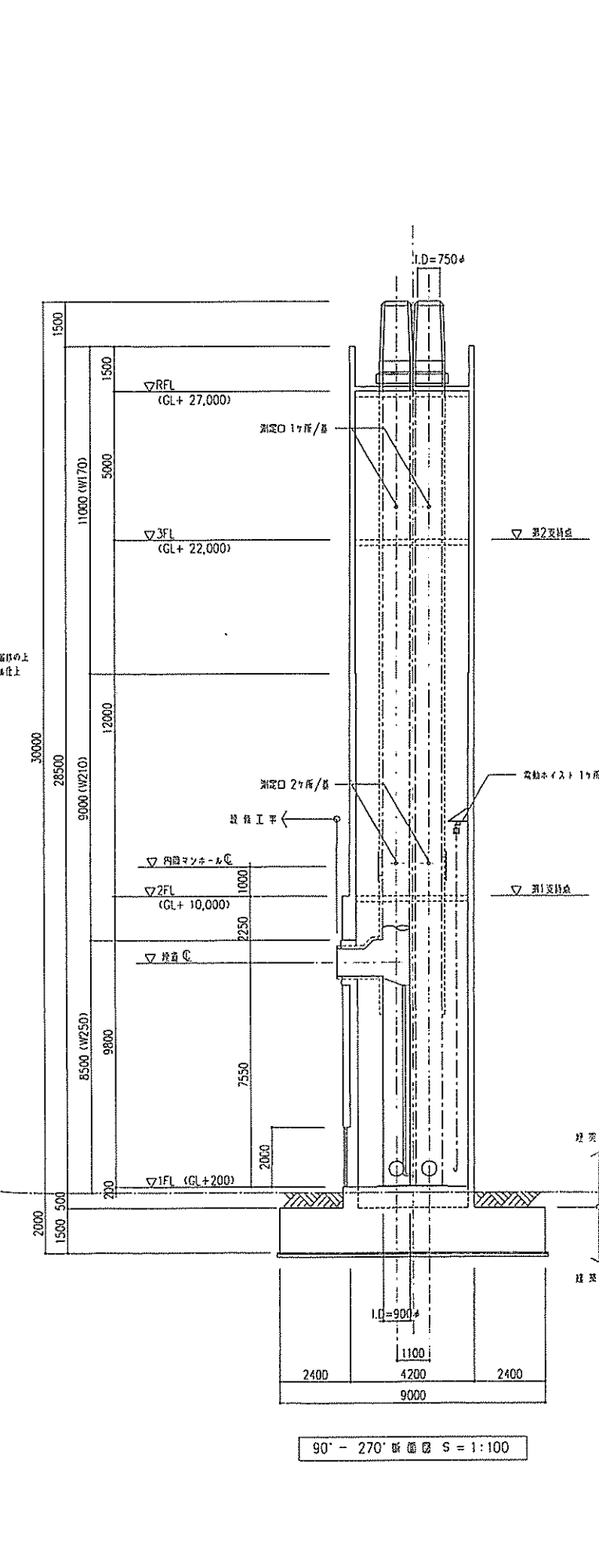
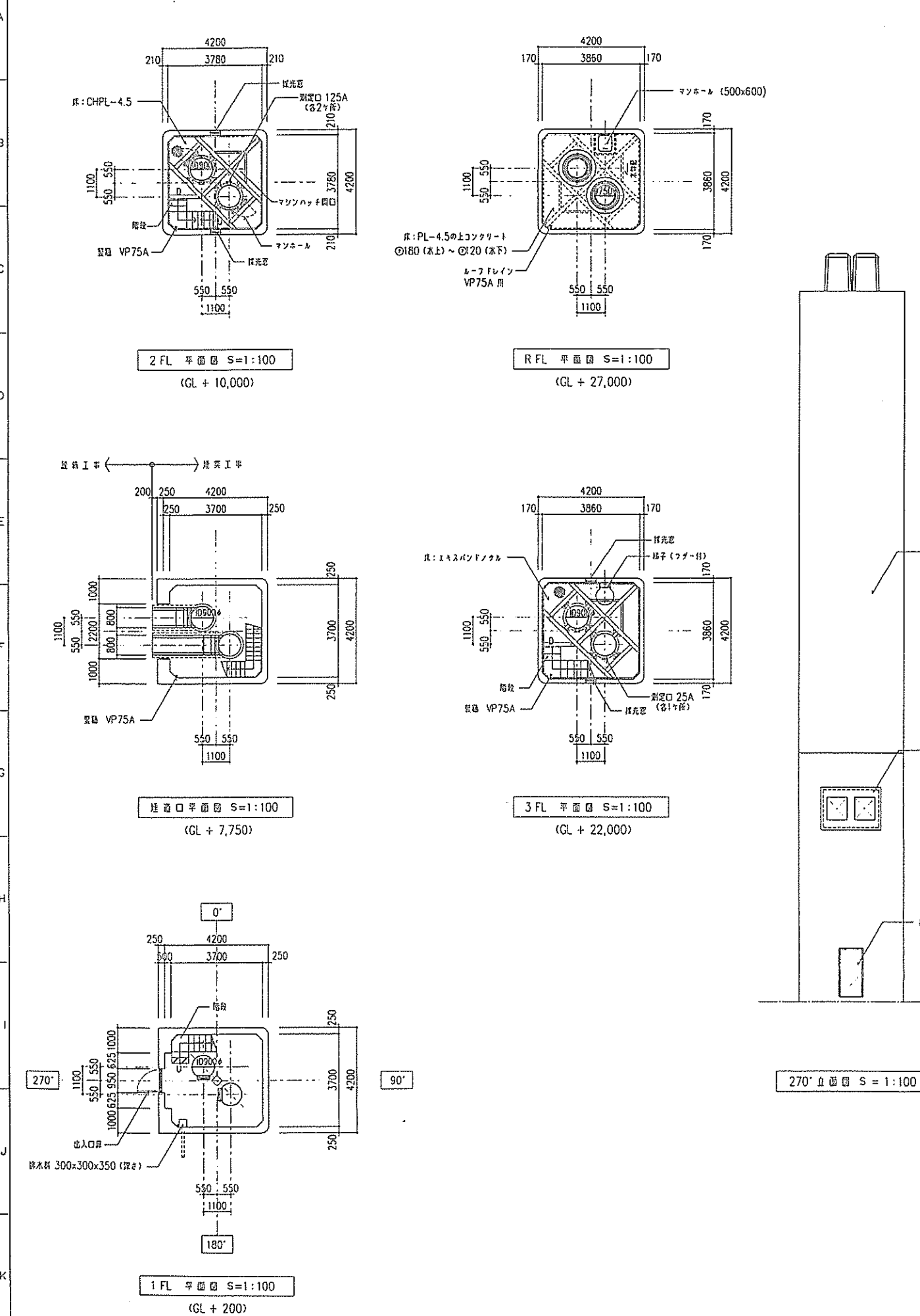
調査は、土壌汚染のおそれが比較的多い土地を対象に実施した。その結果、すべての調査地点および調査深度において、重金属の土壌溶出量および土壌含有量は基準を満足していた。また、すべての採取場所において、ダイオキシン類の含有量は環境基準を満足していた。

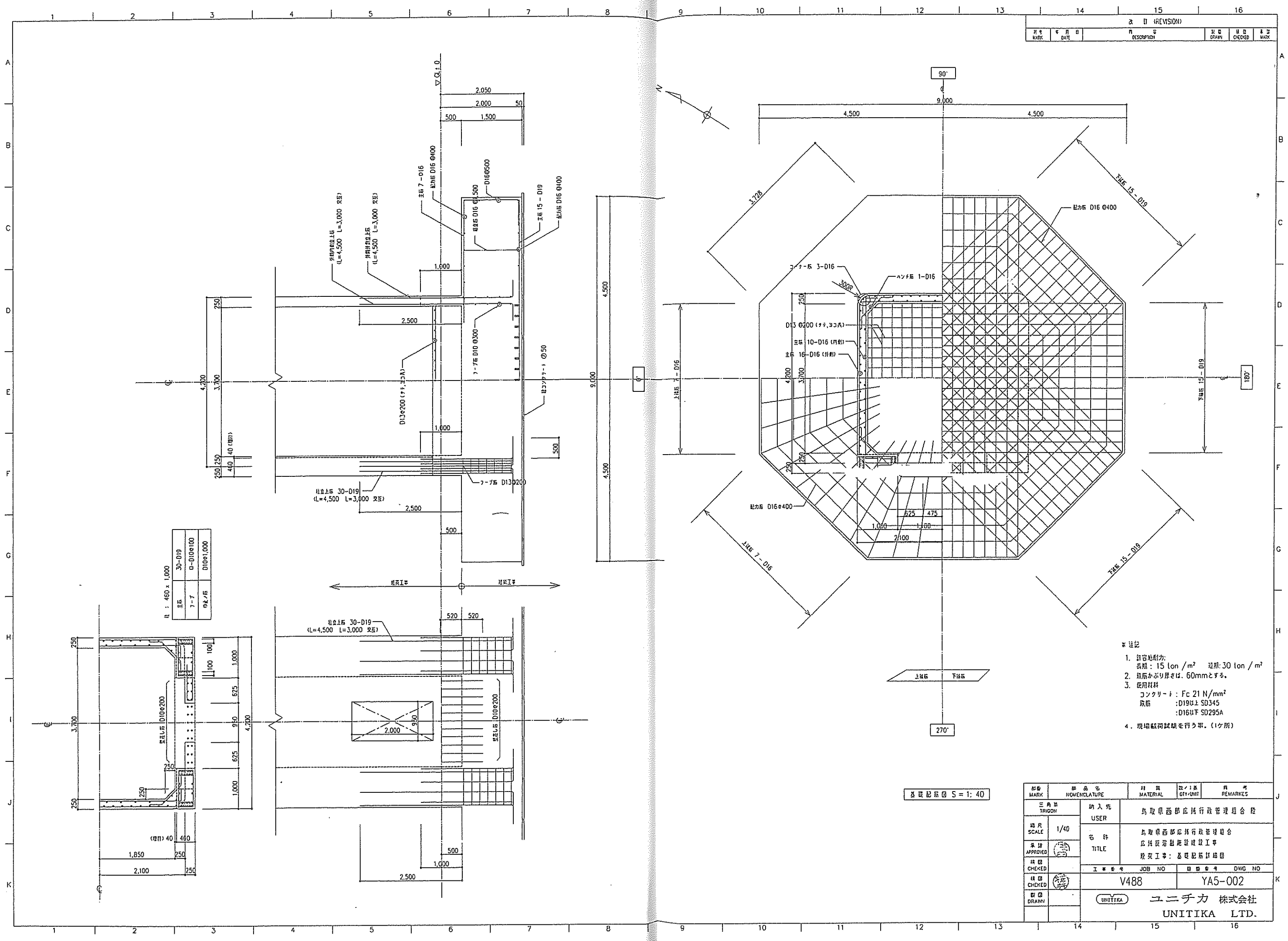
以上

特記事項	
項目	使用材料及び仕様
コンクリート	基礎 : 普通コンクリートFC = 21N / mm ² (スラン15cm)
	外周 : 普通コンクリートFC = 21N / mm ² (スラン18cm)
取手	D19以上: SD 345 D16以下: SD 295A
	取手は全て重め取手 (40d7ヶ付なし) とする
取手の取付	取付部は全て取付部とする
	取付部は全て取付部とする
取手の取付	基礎 : 60mm以上
	外周 : 40mm以上 (内分)
内装	取付部: PL-5 (SUS316L) 内径 750φ ~ 900φ
	一般部 : PL-9 (S-TENI) 内径 900φ
内装外部保護	取付部: ロックワール L = 100 + 外装部 PL-3 (SUS316L)
	一般部 : ロックワール L = 100 + カワ-取付 L = 0.4
内装内部ライニング材	内装外部保護部: 耐熱タイル L = 50 (比重1.8 / m ³ 以上) クラス入り
取付	SS400 他 (取付部は SUS316L とする)
スチール	RFL: SS400 PL-4.5の上コンクリート ①180 (水上) ~ ②20 (水下)
	3FL: SS400 エキスパンノック XG-22 両面
取付部	2FL: SS400 CHPL-4.5
	内装外部保護部 (取付部 2ヶ所)
取付部	取付: 40W x1均等取付部, 計13ヶ所
	コンクリート: 耐熱タイル付 2P 1FL, 2FLに各1ヶ所
取付部	外装部: 耐熱タイル 1ヶ所
取付部	内装外部保護部: 2FL 125A (SUS316) 各2ヶ所, 3FL 25A (SUS316) 各1ヶ所
	内装外部保護部: 各1ヶ所
取付部	外装外部保護部: フルミ共面 ①7 (タタリ付) W 850 x H 1,900 1ヶ所
	外装外部保護部: 3FL: Fix部 W400xH900 (2ヶ所)
取付部	2FL: フルミ上げ下げ部 W400xH900 (2ヶ所)
	外装外部保護部: ルーフドレイン VP75A用
取付部	取付部: VP75A (部材金物①, 500)
	内装外部保護部: フレンパイプ 80A (SUS 316) 25A部付 各1ヶ所
取付部	電動タイル: 定置重量100kg/㎡ (100V 耐熱15m) 1ヶ所
取付部	外装外部保護部: コンクリート打設後の上アクリル系樹脂タイル仕上 (上, 中, 下色分け)
	外装外部保護部: なし
取付部	内装外部保護部: 3ヶ所タイル後 耐熱タイル仕上 (耐熱 250℃以上)
	内装外部保護部: 3ヶ所タイル後 耐熱タイル仕上 (耐熱 250℃以上) *初期養生とする。
取付部	取付部: 耐熱タイル (タタリ付) 及びUSOP仕上



MARK	品名	材料	数量	単位	備考
三角板	納入先	鳥取県西部広域行政管理局			
SCALE	1/100	USER			
承認	名称	鳥取県西部広域行政管理局			
精査	TITLE	広域行政局建設工事			
精査	工事番号	JOB NO			
精査	図面番号	DWG NO			
精査	V488	YA5-001			
精査	UNITIKA	ユニチカ 株式会社			
精査	UNITIKA LTD.				



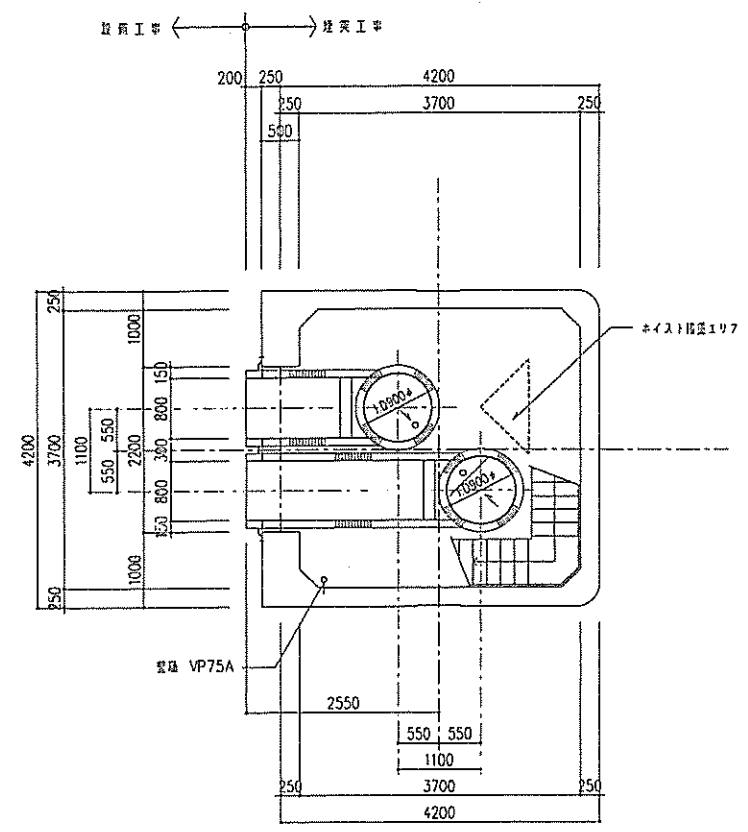


改訂 (REVISION)				
図号	年月日	内容	図面	検査
MARK	DATE	DESCRIPTION	DRAWN	CHECKED

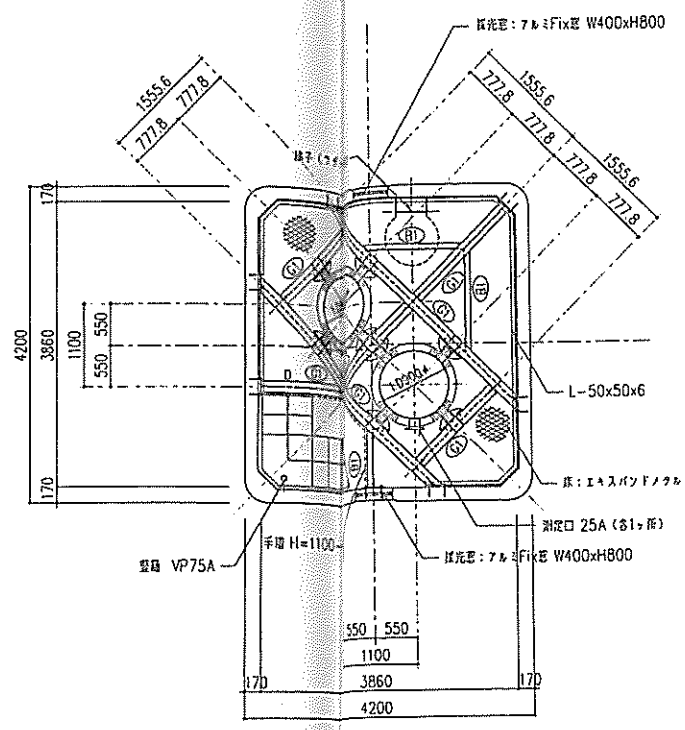
- ※ 注記
- 許容地耐力:
長期: 15 ton/m² 短期: 30 ton/m²
 - 鉄筋かぶり厚さは、60mmとする。
 - 使用材料
コンクリート: Fc 21 N/mm²
鉄筋: D19以上 SD345
D16以下 SD295A
 - 現場紙荷試験を行う事。(1ヶ所)

基礎配筋図 S=1:40

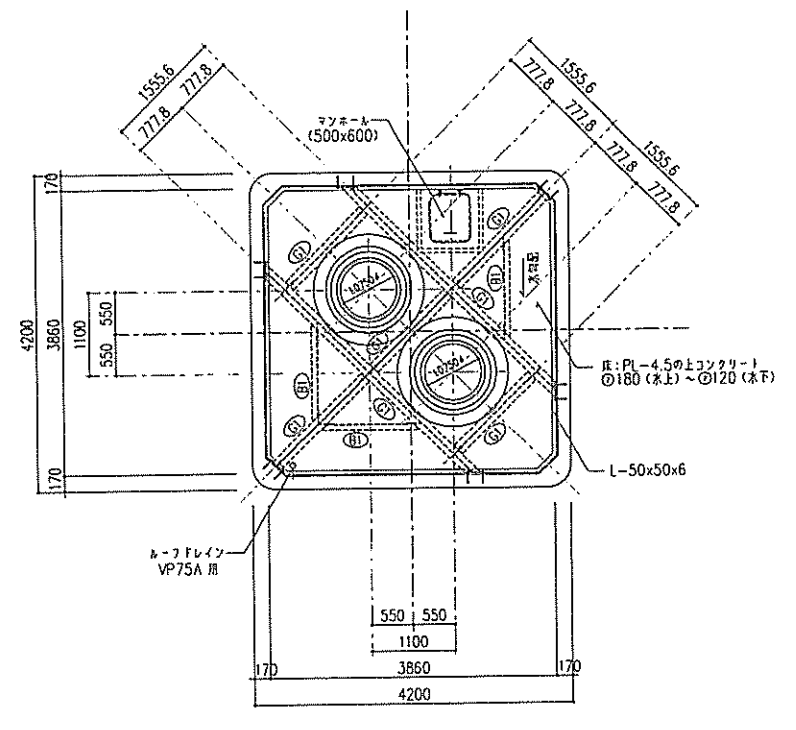
図号	部品名	材料	単位	数量	備考
MARK	NOMENCLATURE	MATERIAL	UNIT	QTY	REMARKS
三角地	納入先				
TRIANG	USER				
縮尺	名称				
SCALE	TITLE				
承認	工事番号				
APPROVED	JOB NO				
検閲	図面番号				
CHECKED	DWG NO				
検閲					
CHECKED					
図面					
DRAWN					



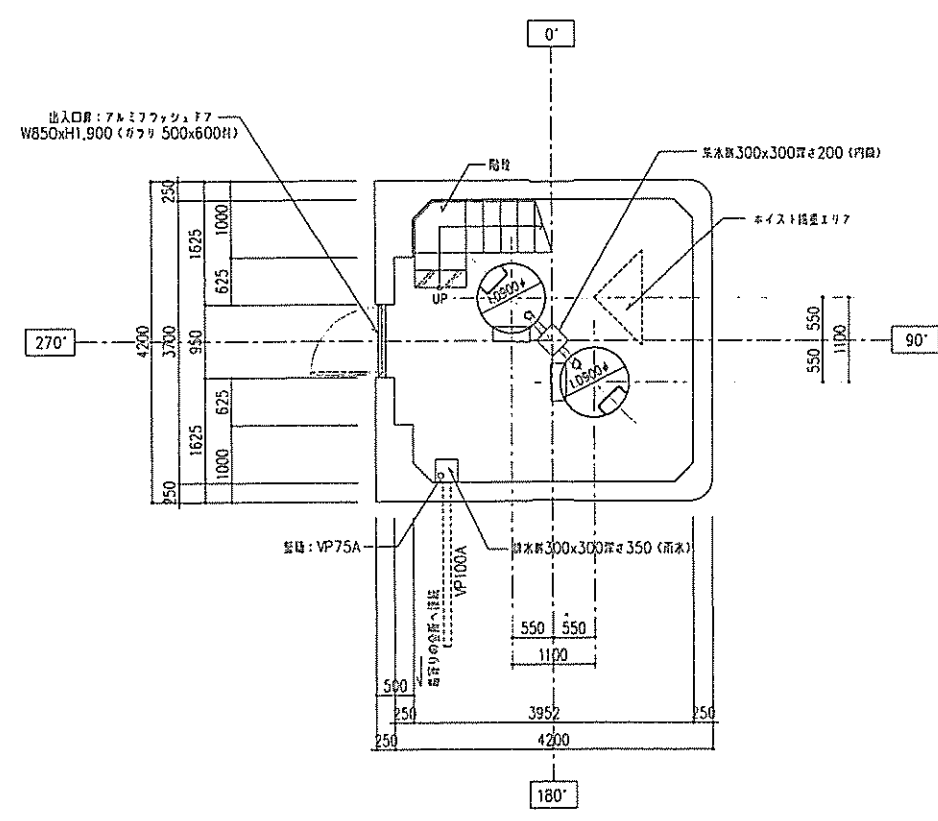
建入口平面図 S=1:50
(GL + 7,750)



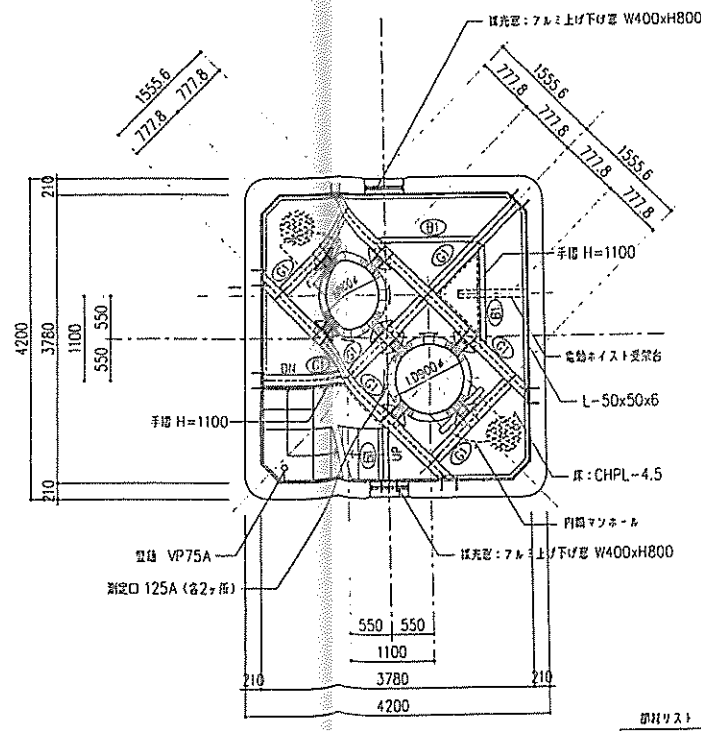
3階平面図 S=1:50
(GL + 22,000)



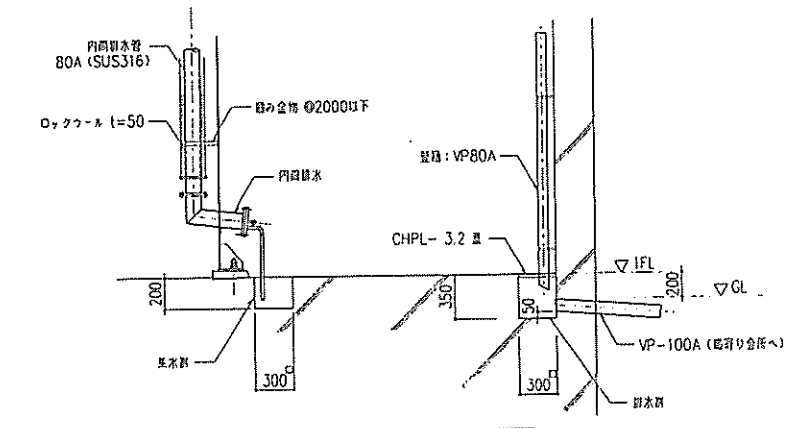
R FL 平面図 S=1:50
(GL + 27,000)



1 FL 平面図 S=1:50
(GL + 200)



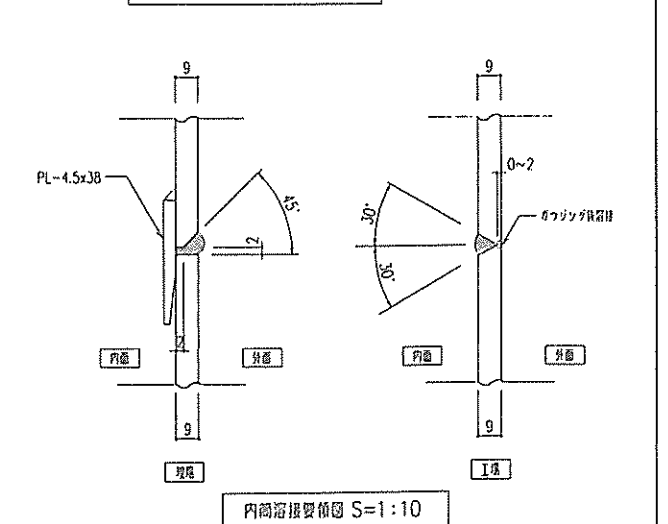
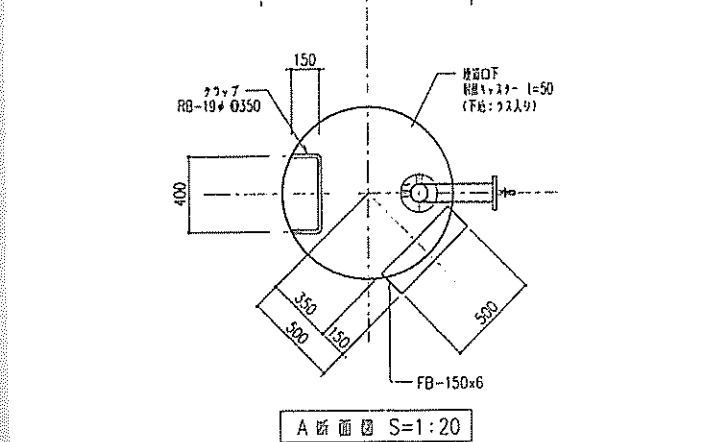
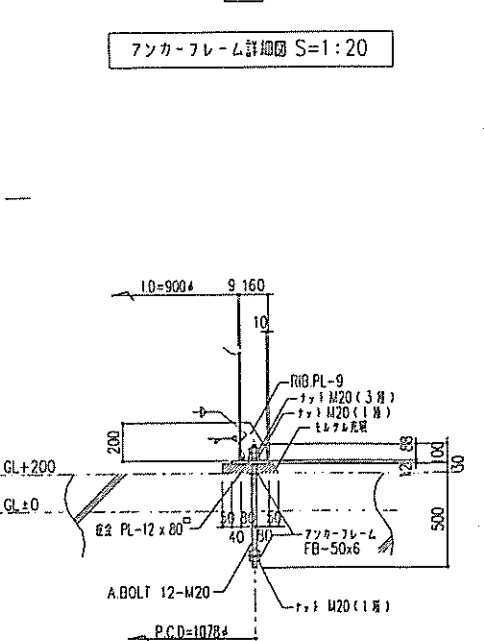
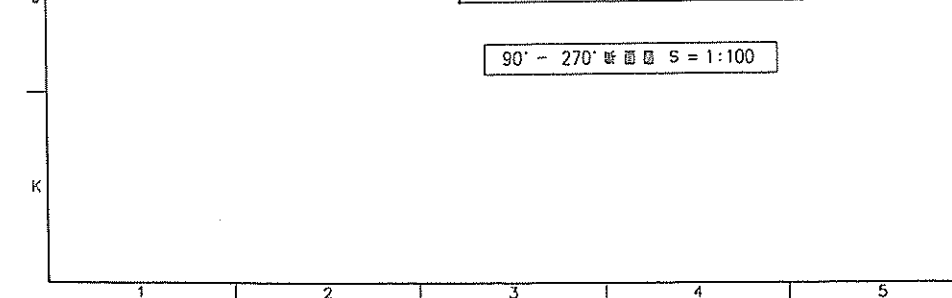
2階平面図 S=1:50
(GL + 10,000)



内視、雨水排水詳細図 S=1:30

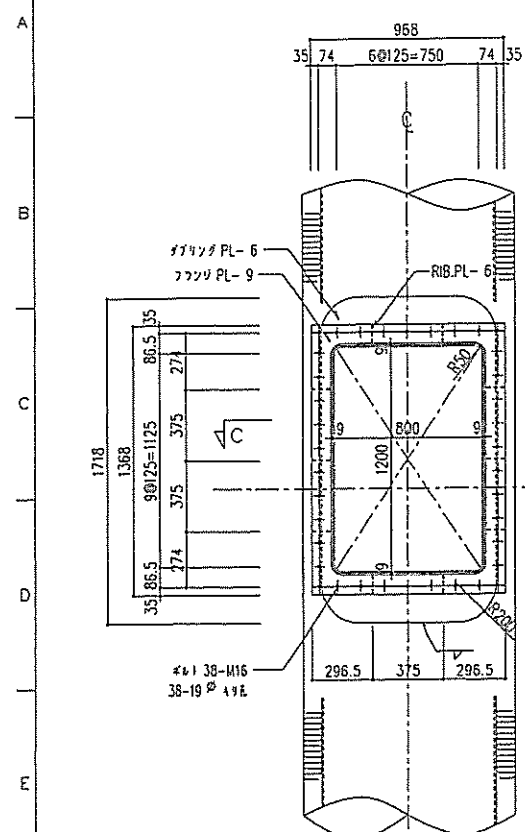
部材名	数量	単位	仕様
部材名	数量	単位	仕様
部材名	数量	単位	仕様
部材名	数量	単位	仕様
部材名	数量	単位	仕様

図面	部材名	材質	数量	備注
MARK	NOMENCLATURE	MATERIAL	QTY/UNIT	REMARKS
三井物産	納入先			鳥取県西部広域行政管理局 役
縮尺	USER			
1/50				
承認	名称			鳥取県西部広域行政管理局 役
CHECKED	TITLE			鳥取県西部広域行政管理局 役
CHECKED				建築工事：平面詳細図
CHECKED	工事番号	JOB NO	図面番号	DWG NO
CHECKED	V488		YA5-004	
CHECKED	UNITEKA			
CHECKED	ユニチカ 株式会社			
CHECKED	UNITIKA LTD.			

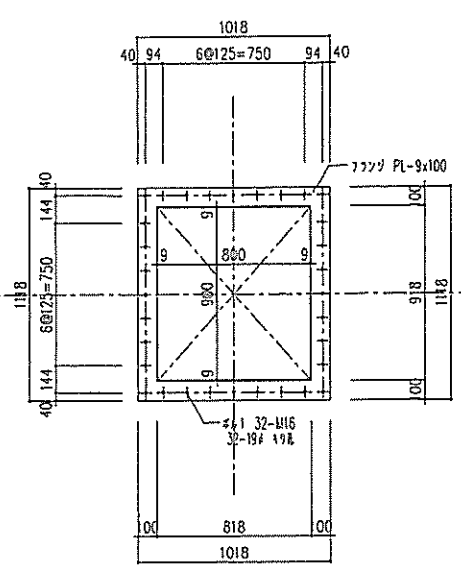


商標 MARK	品名 NOMENCLATURE	材質 MATERIAL	數量 QTY/UNIT	備考 REMARKS
三角架 TRIPOD	納入先 USER	鳥取県西部広域行政管理局 会 殿		
縮尺 SCALE	1/100,10	名 称 TITLE	鳥取県西部広域行政管理局 会 広域広域施設建設工事 建築工事：内閣府補助	
承認 APPROVED		工 事 番 号 JOB NO	図 面 番 号 DWG NO	
検査 CHECKED		V488	YA5-006	
検出 CHECKED		 ユニチカ 株式会社 UNITIKA LTD.		
製図 DRAWN				

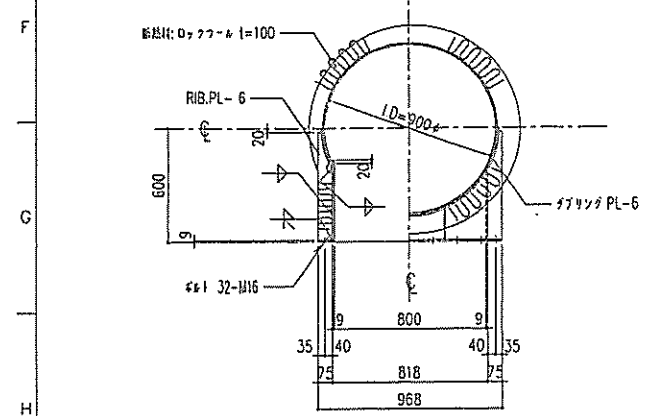
REVISION				
NO.	DATE	DESCRIPTION	BY	CHKD



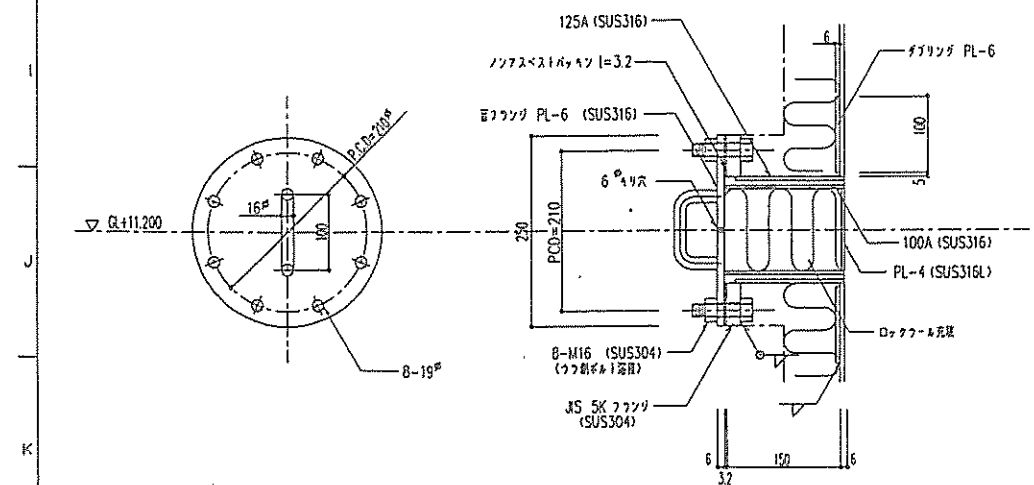
A 面詳細図 S=1:20



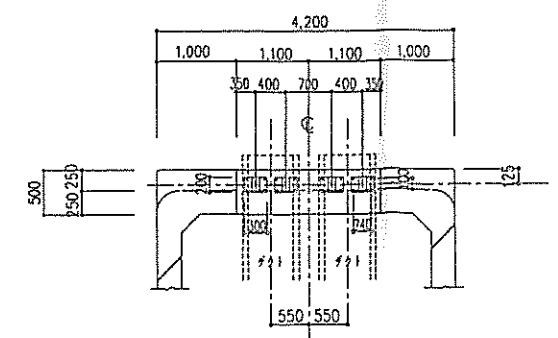
B 面詳細図 S=1:20



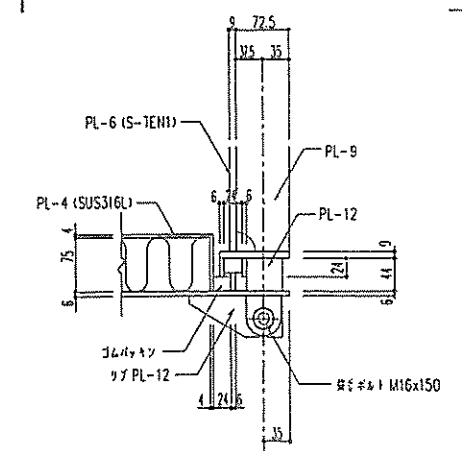
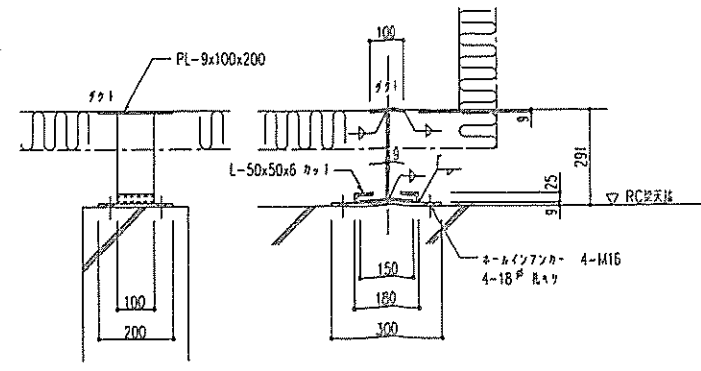
C 面詳細図 S=1:20



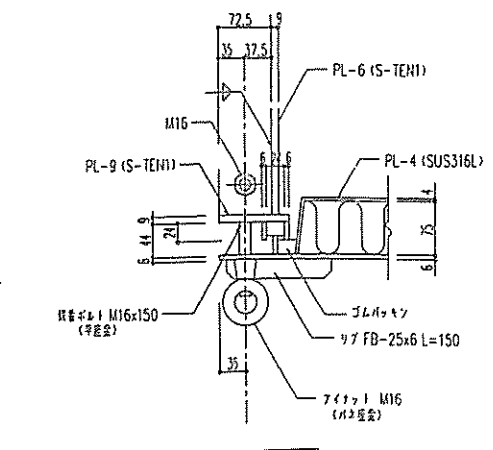
測定口詳細図 S=1:5



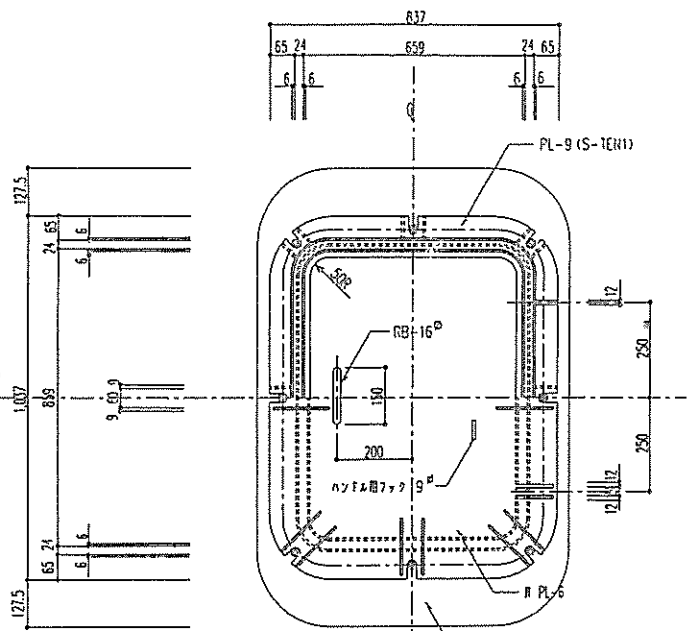
排水口詳細図 S=1:50,10



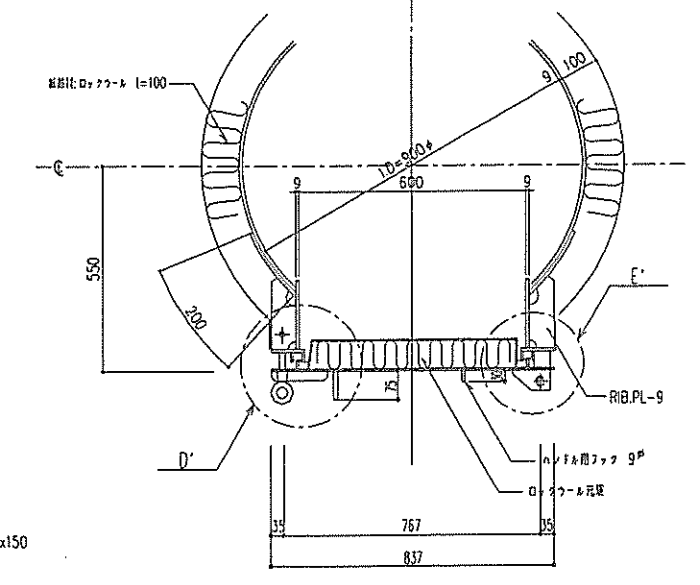
E 面詳細図 S=1:5



D 面詳細図 S=1:5

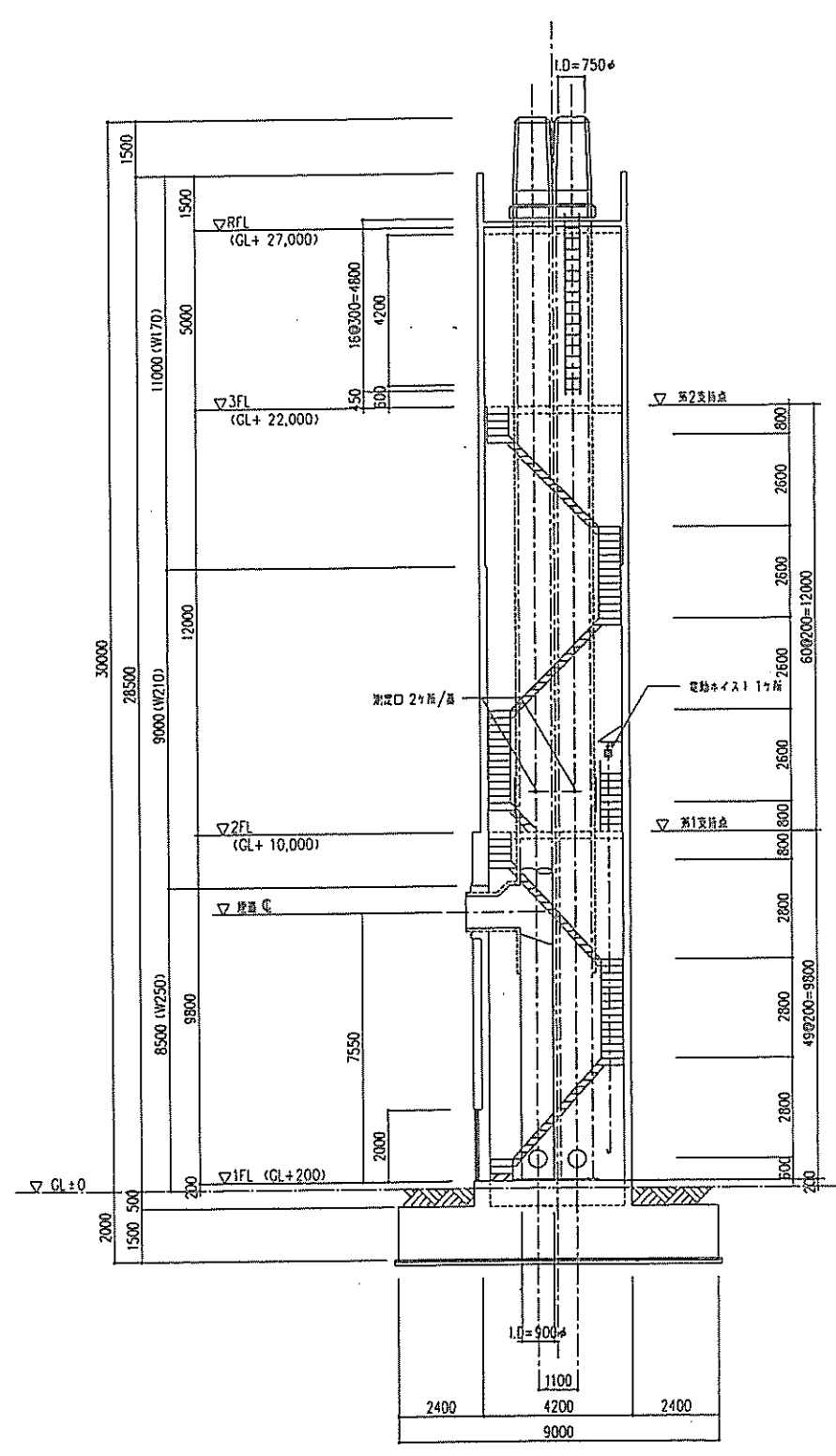


点検マンホール詳細図 S=1:10

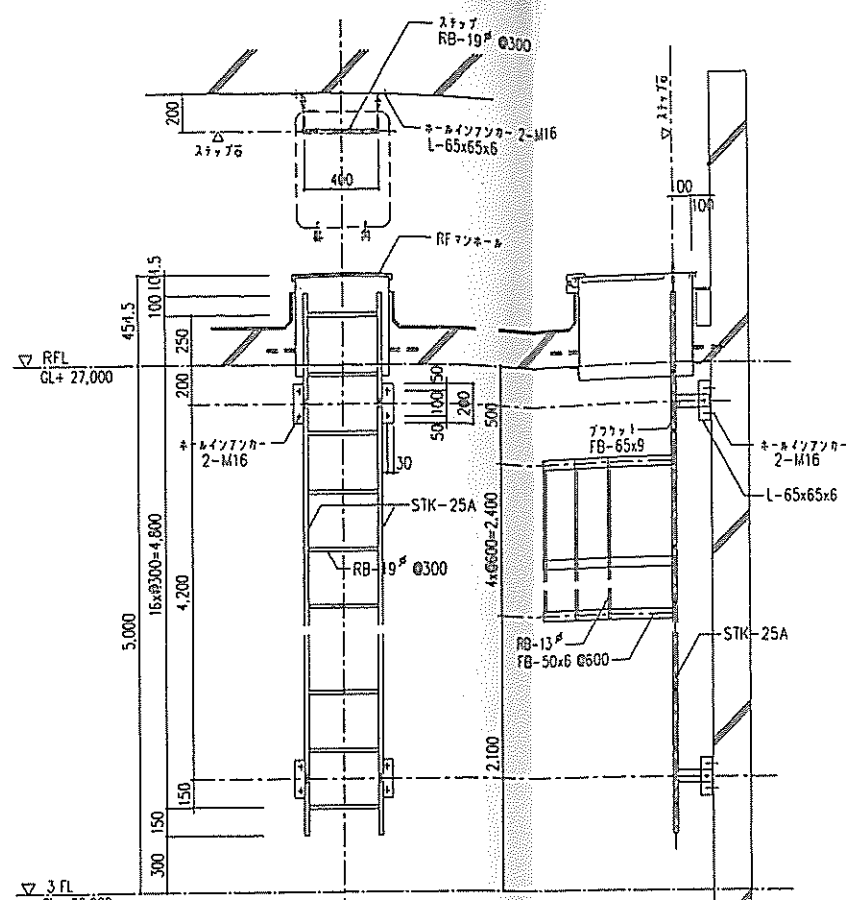


パイプ継ぎ目用マンホール S=1:10

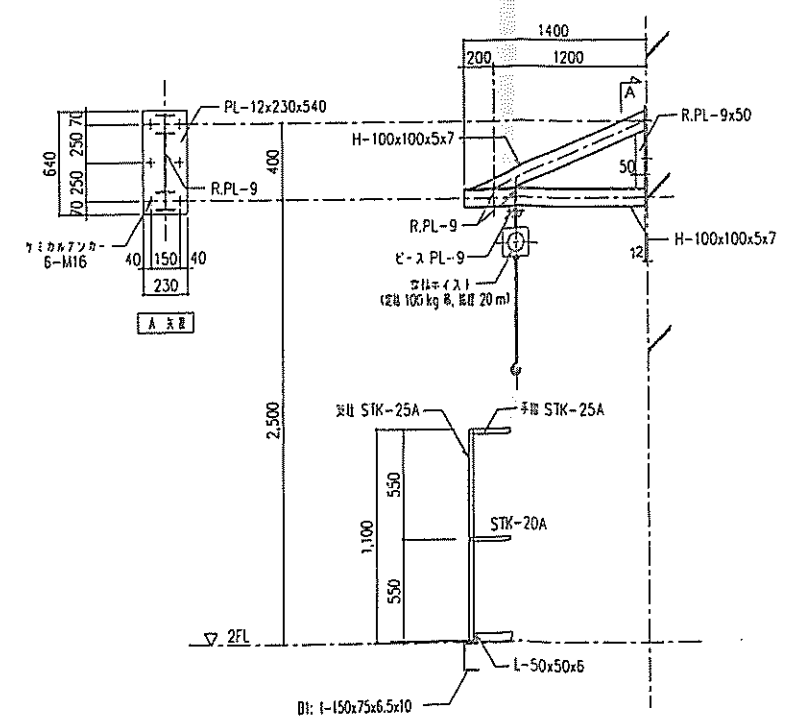
MARK	NAME	MATERIAL	QTY/UNIT	REMARKS
三角	TRIANG	納入先	USER	鳥取県西部広域行政管理局 合 設
縮尺	SCALE	名 称	TITLE	鳥取県西部広域行政管理局 合 設 広域行政施設建設工事 竣工工事：埋設口及びマンホール詳細図
承認	APPROVED	工 号	JOB NO	V488
検閲	CHECKED	図 番	DWG NO	YA5-007
製図	DRAWN	製図者	UNITIKA	ユニチカ 株式会社 UNITIKA LTD.



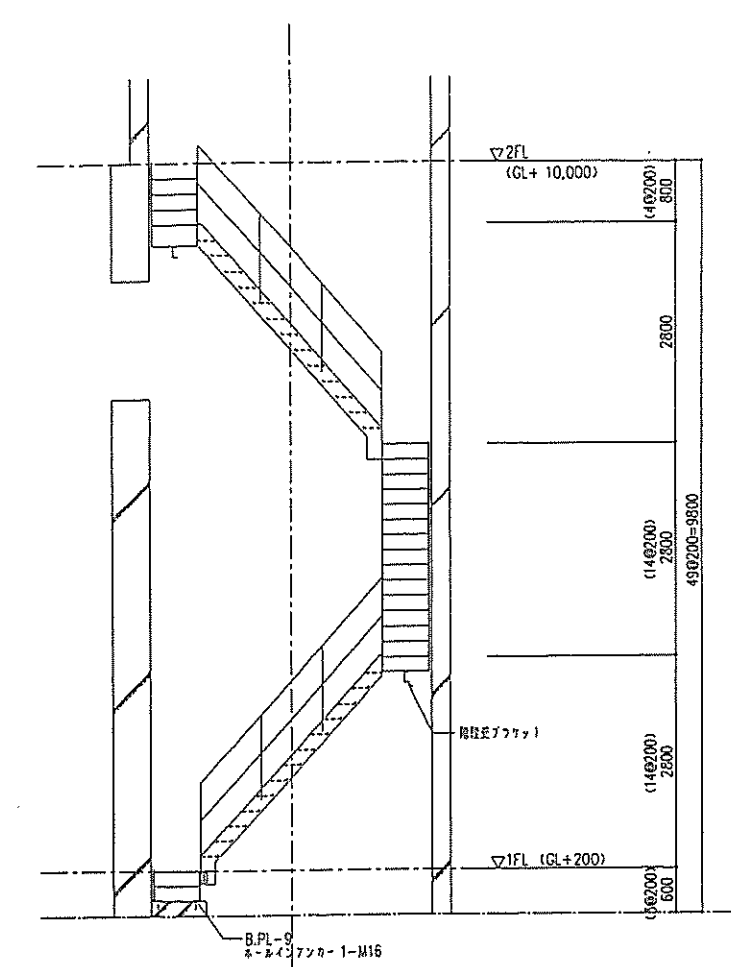
階段、梯子割付基準図 S = 1:100



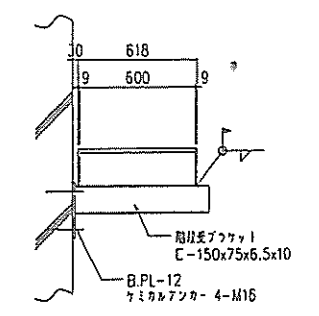
梯子詳細図 (4FL~RFL) S=1:20



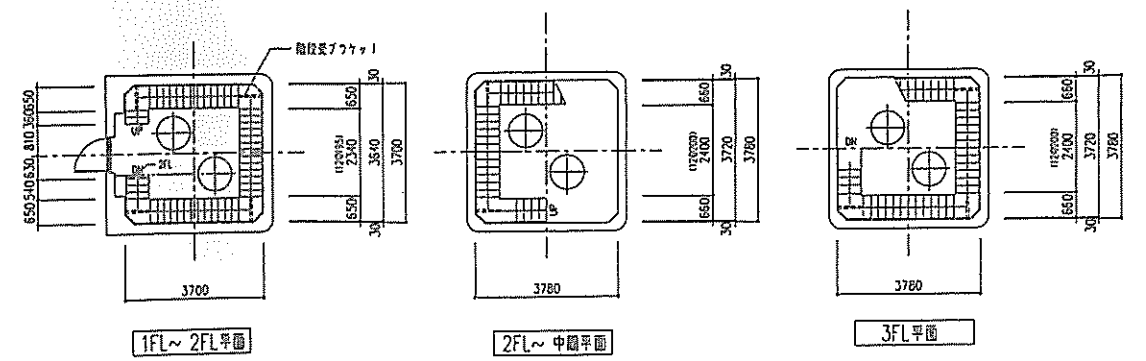
ホイスリ回り詳細図 S=1:20



階段断面詳細図 S = 1:50



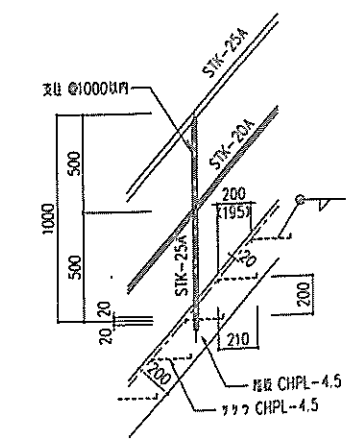
階段受ブラケット詳細図 S = 1:20



1FL~2FL平面

2FL~中層平面

3FL平面



階段、手摺詳細図 S = 1:20

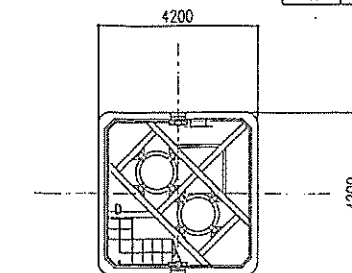
部番	部品名	材料	数量	単位	備考
MARK	HOMECLATURE	MATERIAL	QTY/UNIT	REMARKS	
三角	TRICON	納入先	USER	鳥取県西部広域行政管理局 合 局	
図尺	SCALE	名 称	鳥取県西部広域行政管理局 合 局		
承認	APPROVED	TITLE	建築工事：階段、梯子及びホイスリ詳細図		
検閲	CHECKED	工 事 名	JOB NO	図 番 号	DWG NO
検閲	CHECKED		V488	YA5-009	
製図	DRAWN	UNITIKA ユニチカ 株式会社 UNITIKA LTD.			

番号	記号	仕様
1	—	避雷導線 2.0φ×13本 下部残りのみ 保護管 VE-28φ
2	▲	導線保護管
2	⊗	端子ボックス 接続3端子付 露出型 (露出型)
4	≡	接地板 鋼板 1.5 t × 900 × 900
5	-----	避雷導線 地中埋設配線 2.0φ×13本

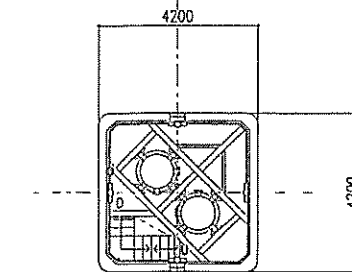
記号	仕様	数量
⊗	分電盤 (防水型)	1
□	蛍光灯 (40w × 1 反射板付)	13
⊗	ジョイントボックス	1 式
•	スイッチ (片切) FL+1,300	2
⊕	コンベント (防水配付 2P) FL+500	2
—	蛍光灯器具: H1V (耐熱ビニール電線) 1.6-2C 保護管 VE22	1 式
—	コンベント器具: H1V (耐熱ビニール電線) 2.0-3C 保護管 VE22	1 式

- 注) 1. 電気設備及びスリーブ等の設置は、現場打ち合わせによる。
2. *印の蛍光灯は、直付 (反射板なし) とする。
3. VE管はカーブパイプとする。

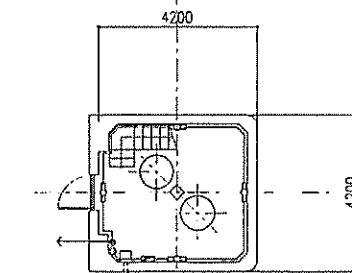
改訂 (REVISION)				
訂正 MARK	年月日 DATE	内容 DESCRIPTION	図面 DRAWN	承認 CHECKED



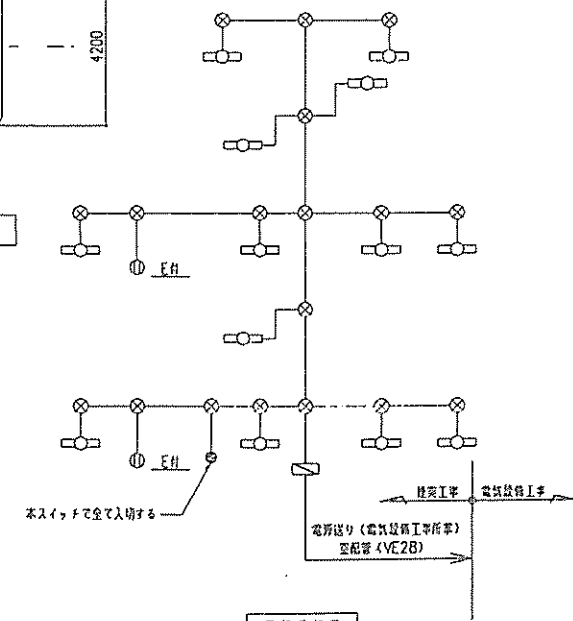
3 FL S=1:100
(GL + 22,000)



2 FL S=1:100
(GL + 10,000)

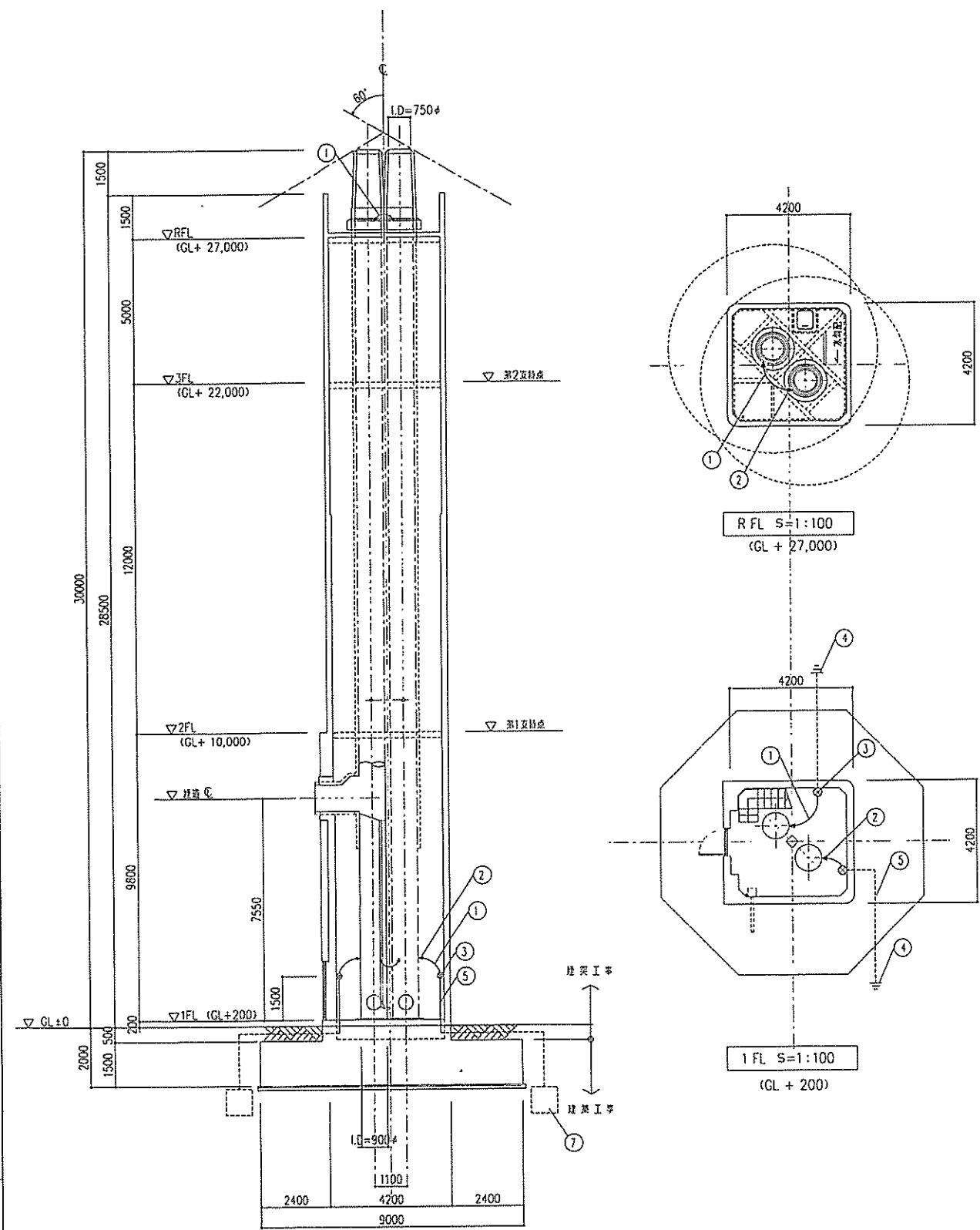


1 FL S=1:100
(GL + 200)



部番 MARK	部名 NOMENCLATURE	材質 MATERIAL	数量 QTY/UNIT	備考 REMARKS
三角架 TRIPOD	納入先 USER			鳥取県西部広域行政管理局 倉庫
縮尺 SCALE	名称 TITLE			鳥取県西部広域行政管理局 倉庫 広域広域施設建設工事 建築工事: 建築計, 電気設備関係
承認 APPROVED	工事番号 JOB NO			V488
検閲 CHECKED	図面番号 DWG NO			YA5-010
検閲 CHECKED				
初版 DRAWN				

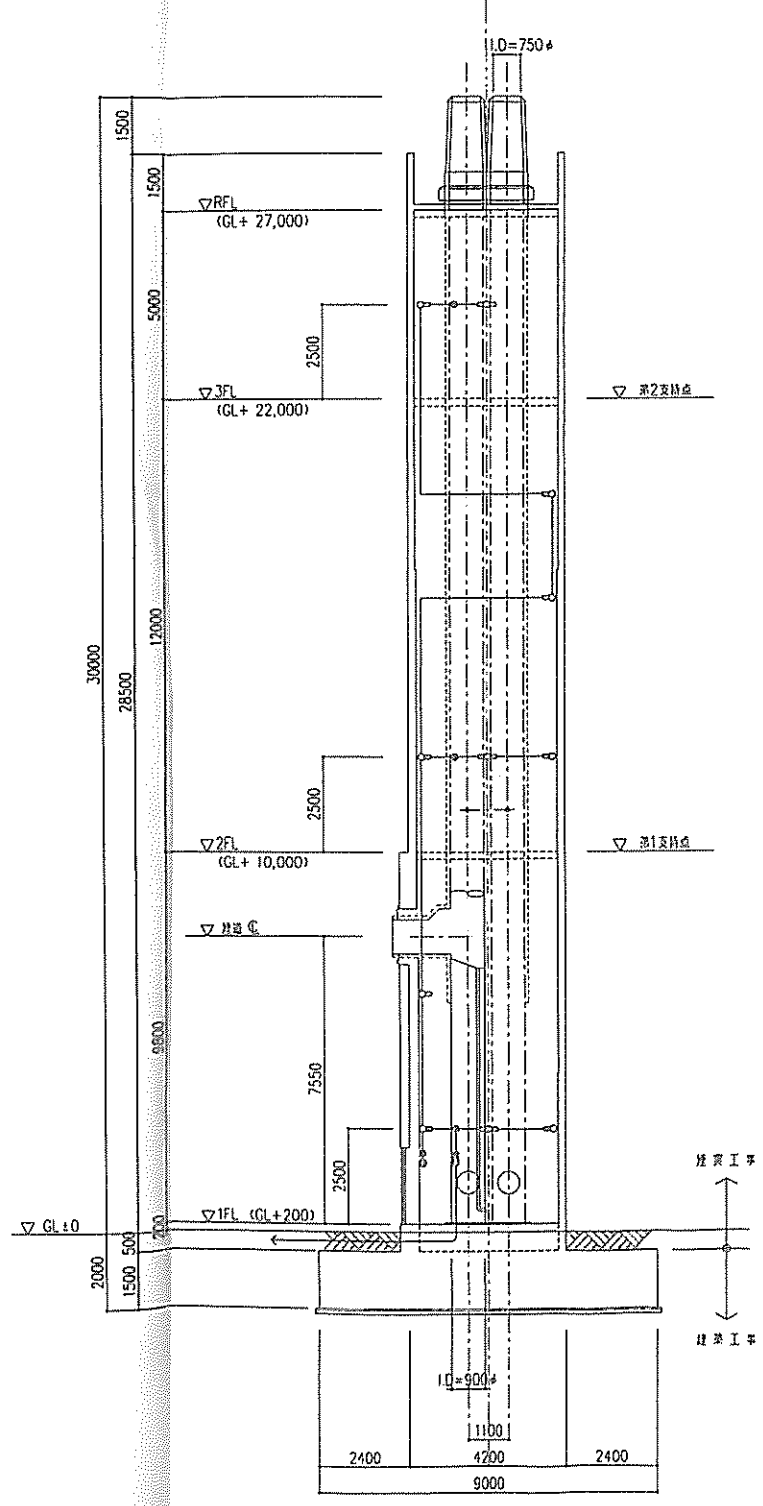
ユニチカ 株式会社
UNITIKA LTD.



R FL S=1:100
(GL + 27,000)

1 FL S=1:100
(GL + 200)

建築引込線図 S = 1:100



電気・照明設備図 S = 1:100